



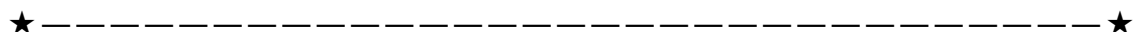
## いわて マナビィ マガジン

No. 254 (令和4年度第16号) 2022.12.2

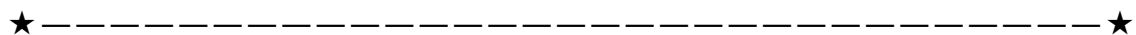


<<< 本号の内容 >>>

- ◎「岩手県生涯学習推進研究発表会」(ハイブリッド形式で開催!)
- ◎「いわて」のマナビィ ミニ講座<sup>⑭</sup>(一関市)  
～「日本一の『もち』文化」～



「岩手県生涯学習推進研究発表会」  
(ハイブリッド形式で開催!)



県内も、いよいよ冬景色となり、当センターでは雪かきの準備とともに、最大の行事である「岩手県生涯学習推進研究発表会」の準備に力を入れているところです。

本発表会は、「社会教育におけるICT活用のあり方」「地域づくりにおける公民館等の役割と課題」の2本の研究成果を発表し、各市町村等で活用いただくことを主目的としています。

同時に「岩手の人づくり・つながりづくり・地域づくりフォーラム」として開催し、「『人づくり・つながりづくり・地域づくり』とICT活用」をテーマに、講演・事例発表・協議等を行います。

当センターの研究は、本年度も岩手大学名誉教授(岩手県教育委員)の新妻 二男 先生にご指導いただきながら進めて参りました。先生には、発表会当日も研究発表・協議のコーディネート及び助言をしていただきます。

なお、この冬も感染症対策に油断ができない状況が続いており、また、冬期間の当センター周辺は、厳しい交通環境となることがあります。そこで、皆様が参加しやすいよう、参集型とオンライン型のどちらでも参加できる(いわゆるハイブリッド型)ように準備を進めて参りますので、ぜひ参加をご検討ください!

【日時】 令和5年2月2日(木) 13:30~16:00  
3日(金) 10:00~15:00

【会場】 岩手県立生涯学習推進センター  
(オンラインでも参加できます!)

【内 容】

[ 2 月 2 日 ( 木 ) ] 13 : 30 ~ 16 : 00

< 研究発表 > 当センターの今年度の研究成果を発表します。

( 助言者 )

岩手大学名誉教授 ( 岩手県教育委員 )

新妻 二男 氏

( 内容・発表者 )

(1) 「地域づくりにおける公民館等の役割と課題に関する研究」

～震災後の地域復興・地域創造に焦点を置いて～

( 2 年研究 1 年次 )

※震災後 10 年を経た今、公民館が担ってきた役割の成果と今後の役割や課題について探ります。

県立生涯学習推進センター

社会教育主事 高橋 祐輝

(2) 「社会教育における ICT 活用のあり方に関する研究」

( 2 年研究 2 年次 )

※本県の現状を踏まえ、具体的な方策や特徴的な取組など ICT 活用のあり方についてまとめます。

県立生涯学習推進センター

社会教育主事 高橋 啓

[ 2 月 3 日 ( 金 ) ]

< 事例発表・協議 > 10 : 00 ~ 12 : 00

「『人づくり・つながりづくり・地域づくり』と ICT 活用」

( 助言者 )

関東学院大学国際文化学部

学部長 ( 教授 ) 吉田 広毅 氏

( 発表者 )

(1) 遠野市教育委員会 市民センター 生涯学習スポーツ課

(2) 埼玉県さいたま市教育委員会 生涯学習総合センター

< 講演 > 13 : 00 ~ 15 : 00

「社会教育における ICT 活用について考える」

講 師 関東学院大学国際文化学部

学部長 ( 教授 ) 吉田 広毅 氏

〔講師紹介〕

奈良県生まれ。専門は協調学習、自律的学習、動機付け理論を基にした英語科教育。国際基督教大学大学院教育学研究科を修了。常葉大学専任講師、准教授、教授を経て、2017年に関東学院大学に着任。現在、文部科学省国立教育政策研究所「社会教育主事講習の充実に資する学習コンテンツ等の開発に関する調査研究」委員、日本生涯教育学会 常任理事、文部科学省 社会教育主事講習講師など、各種委員等としても活躍中。

『Development and Validation of the Online Cooperative Learning Anxiety Scale』(2014年)

『教員養成課程における高次能力学習型反転学習による授業設計力育成に関する研究』(2015年)

『生涯学習支援論ハンドブック(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)』(2020年)

『Effects of Managerial Facilitation Strategies on Flipped Learning for Developmental English Education』(2022年)他、著書多数。

※参加申し込みについては12月中旬までに配布(HP「まなびネットいわて」に掲載)する2次案内(要項)をご覧ください。

※お問い合わせは生涯学習推進センターまでどうぞ。

(電話 0198-27-4555)

当センターのHP「まなびネットいわて」の「新着情報」に、ちらし(一次案内)を掲載中!

↓↓↓↓↓

<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

☆◇-----☆◇

「いわて」のマナビィ ミニ講座⑭(一関市)

☆◇-----☆◇

今回のミニ講座は、「日本一の『もち』文化」です!

12月に入り、新年の足音も聞こえてきましたが、お正月に食べるものと言って、すぐに思い浮かぶのが「お雑煮」「お汁粉」などのもち料理ではないでしょうか。

しかし、一関市などの県南地方は、「もち」=お正月ではないようです。正月や年越しはもちろんですが、農作業や季節の節目に、入学式や卒業式、冠婚葬祭にと、年間60日以上といわれるほどもちをつき、暮らしに欠かせない存在となっています。

特に一関市は、全国的にも珍しい「もち料理」が豊富であり、その数なんと300種類以上で、日本最多と言われています!

江戸時代、一関市は伊達藩が治めていましたが、新田開拓に力を入れ、毎月1日と15日はもちをついて神に供え平安無事と豊作を祈り、邪気払いのため「赤いもの（あずき）」を食べる風習がありました。

しかし、当時の農民は年貢を納めるだけで精一杯で、自分たちがもちを食べるゆとりはなかったため、くず米（砕けた米や未成熟の米など）を粉にして練り、雑穀などと混ぜ合わせた「しいなもち」を生み出しました。

また、くず米で作るもちを美味しく食べる工夫として、沼地に生息していたエビやどじょう、山で採れたごぼうやじゅうね（えごま）などを使用しました。これが郷土食として現在に伝わっています。

明治・大正時代あたりまでは、食材に限りがあったため、もち料理は20～30種類程度でしたが、もちが大好きなこの地域の人々によって、戦後も新しいもち料理が生まれ続けました。近年では、チーズとの相性抜群の「もちフォンデュ」や「ピザもち」、「もちロールキャベツ」「ピーマンのもち詰め」「もちパフェ」など進化が続き、300種類以上になっているとのことです。

現在、そのうちの200種類もの「もち料理」がデータベース化され、レシピが公開されています！

なお、「もちの聖地」とも呼ばれる一関市では、「全国わんこもち大会」「全国もちフェスティバル」「日本一のもちつき大会」等のイベントも行われており、「日本一の『もち』文化」を活かしたまちづくり、地域づくりが行われています。

「あんこもち」と「雑煮」はおかわりできますが、「くるみもち」や「しょうがもち」などはおかわりしない、などの作法もあるとのことです！

（※本内容は、一関観光協会公式サイトの内容を参考）

「一関もち食推進会議」

※事務局 （一社）世界遺産平泉・一関DMO

（もちデータベース）

<https://www.ichitabi.jp/feature/special/mochi/images/mochi.pdf>

（もちMAP）

[https://www.ichitabi.jp/guidebook/pdf/guidebook\\_05\\_03.pdf](https://www.ichitabi.jp/guidebook/pdf/guidebook_05_03.pdf)

★-----★  
**今後の研修会等実施予定**

★-----★

- 1 2月 5日(月) 子育て・家庭教育相談担当者研修会Ⅱ
- 2月 2日(木)～ 3日(金)  
岩手県生涯学習推進研究発表会
- 2月 8日(水)～ 17日(金)  
社会教育主事講習(B) ※当センター会場実施分
- 2月 16日(木) 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会

※当センター主催の開催要項・実施報告書は、当センターのHP「まなびネットいわて」をご覧ください。(中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座要項」内に掲載中)

↓↓↓↓↓

<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/index.html>

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

- ▶ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで  
⇒ E-mail ; mag-manabee@pref.iwate.jp
- ▶生涯学習・社会教育関連情報は当センターHPから  
⇒ <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/index.html>
- ▶当センターの情報をSNSにて配信中  
【 Twitter 】<https://twitter.com/manabinetiwate> Facebook・Twitter

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口 2-82-13）  
編集：菊池 一洋